



サーバス九州

日本サーバス九州支部会報 No.169 2015年10月20日発行 九州支部長

青空が頭上いっぱいになり、葉を落とした柿の木の橙色の実が青空に映えて、この地方の典型的な秋景色をつくっています。ここ九州でももうすぐ紅葉の季節を迎えます。寒さで外歩きを控えたいくなるまでのつかの間ですが、大いに秋日和を楽しみたいものです。

さて、サーバス九州では恒例の秋例会も無事終了しました。初参加の方も多く、会員間の交流が一層深まりました。

3年に1回開催されている国際会議は今年はニュージーランドで開催され、世界各地からの参加者と交流を深められた方もいらっしゃいます。

最近では、九州を訪れてくださるトラベラーも増えてきているようです。あちこちで「一つ屋根の下での交流」が行われていることでしょう。その報告もお聞かせください。お待ちしております。

会報 2015年10月号(169号)をお届けします。

受信されましたらご一報いただくと安心します。どうぞよろしく願いいたします。掲載している内容は以下の通りです。

- 1 サーバス九州秋例会（長崎・雲仙）報告
- 2 サーバストラベリング報告 その1 国内旅行
- 3 サーバストラベリング報告 その2 ドイツ・チェコ。ポーランド自転車の旅
- 4 サーバス九州からのお知らせとお願い
- 5 サーバス九州現況（2015年10月1日現在）と会員情報
- 5 サーバス九州連絡先等（常掲）HPでは省略

1 サーバス九州の秋例会を行いました

概要は以下の通りです。

参加者から寄せていただいた参加記2通をご紹介します。雰囲気をご想像ください。

時：2015年9月26日（土）～27日（日）

所：長崎市・雲仙（青雲荘泊）

内容：①長崎原爆資料館見学

②聖母の騎士コルベ神父記念館見学

③雲仙青雲荘で宿泊・交流

④藤浦会員のお話（楠学園の紹介とヨーロッパ自転車の旅）

⑤普賢岳火砕流記念館見学

参加者：17名（福岡2，大分4，宮崎2，長崎5，フランス1，韓国1）

サーバス九州秋例会に参加して

福岡 N 会員

入会して初めての例会。福岡を出発して長崎へ。集合先のJR長崎駅改札口。一回お会いした方が二人。他の方は、名前も知らない人ばかり。支部長の「だれかお腹すいてない？」「パン食べる？」やさしいその第一声に、一気にうちとけました。

市内電車で原爆資料館へ。

悲しい残酷な原爆の資料展示と記憶伝承と思うんだけど。とても涼しくて快適な館内に、きれいな展示。私は表面だけしか理解できなかった。恐怖の元凶のファットマン（プルトニウム爆弾をつめていた4・5トンの爆弾）の模型も太った人と言う名のとおりぷっくりしていて、こわさは、感じにくかった。被爆当時約7万人、5年後には14万人の人々が殺されてしまったのに。

平和公園を通過して、被爆者の方のお話を伺いに。ご本人が退院の日で来れないとの事。今も苦しんでおられる原爆の被害。風化させてはいけないと、強く反省いたしました。戦後70年。この平和をずっと続けるために。

つぎは、一番行きたかったコルベ記念館へ。

50年ぶりの2度目の訪問。カトリックの布教の為に印刷されていた聖母の騎士誌の印刷機、机、部屋の一部が保存され、アウシュビッツで男の人の身代わりになって、殺された事実が、展示されていました。昔は気がつかなかったのですが、横に聖母の騎士学園が建っていました。今は亡きコルベ神父の宣教の志が今も息づいていて、とってもうれしくなりました。

ここで、ペルーからのロサさんとフランスのモニクさんとうちとけて楽しくお話！

宿からのお迎えのバスで雲仙へ。

17名のサーバス会員。なんだか旧知の仲みたい。ワイワイとなんだか楽しい。一人一人の自己紹介のあとKさんが楽しいバスガイド。

雲仙の宿での夕餉。

もうすっかりみんな知り合い。楽しいおいしい食事と会話。ここで、韓国のJさんが日本3<韓国5<中国6と宴会の声が大きくなる話をされてなんだかおもしろい。そういえば、天神で買い物してる韓国の人も、中国の人も、声がすごく大きくて元気なもの。Mr.IがRさんとの結婚のなれそめを話してくださったり。アルコールも少々入り、私達もワイワイ！ 静かじゃありません。

別室で鹿児島でフリースクールを運営されてるFさんが、楽しそうな生徒の様子や、ご本人のヨーロッパでのサーバス体験をビデオとやさしいお話で楽しく見せてくださいました。すてき！ 私も来年、サーバス体験をしにサーバスに誘ってくれたY子さんに行きたくなりました。鹿児島にも。

夜は白濁したやわらかな温泉につかって、3人部屋で、ゆったり、ぐっすり。

朝は露天風呂に。

出発前ロビーで名刺交換や情報交換！ワイワイガヤガヤ！

宿のバスで水なし本陣へ。噴火の被災家屋が移築され、展示されていて説明のテープがずっと同じ説明をしています。外の普通の人家を見ていると、とてもきれいで、畑には野菜がすくすく育っています。大噴火から25年もたち復興の並々ならない努力を感じます。それにしても町のすぐうらに普賢岳が大きくそびえ私にはとてもこわく圧迫感さえ感じられました。今でも裏に二筋白く噴煙が上がっていますと教えてくれたこの土地の方に、噴

火の後、どこかに引っ越そうと思われましたか？と聞く私に、普蔵様のおかげで暮らしています。ここが一番。どこにも行きたくありません。との明快な答え。それにしても、普蔵さまなんだ！とびっくりしました。

雲仙岳災害記念館・「がまだすドーム」へ。

今から約200年前の島原大変噴火が劇場形式で見れる部屋と、1990年の火砕流、土石流を度迫力で疑似体験できる平成大噴火シアターを体験しました。自然の驚異と災害の教訓が学べるようになっていました。

帰りは、島原鉄道で諫早へ。

諫早から博多の新幹線の車中は、眠ってばかり。盛り沢山の2日間でした。秋例会を企画し、実行してくださり、車でサポートしたり、いろいろな方の、みごとなボランティアをみせてもらった旅でした。いつも頼りにしているTさん。これからも、よろしく願います。

2015. 長崎・雲仙例会1日目の報告

宮崎 I 会員

9月26日 長崎原爆資料館前に12時30分集合でした。私は宮崎からの長距離バスでいきますので、その時間には間に合いそうになかったので遅刻届を出していました。長崎駅より1つ前昭和町停留所で下車。すぐタクシーを拾えました。理由を告げたら資料館へ行ってみましょとなり、原爆資料館についたらサーバスのメンバーに入口近くで合流することができました。

修学旅行の引率でたびたび訪れた資料館でしたがすっかり新しくなって、観賞しやすくなっていました。半数の方が外国人で真剣に見学されていました。

「被爆者の声を聴く会」が予定されていたので、被爆者の店へ移動です。爆心地を示すモニュメントの広場を抜け、坂を下って北村西望作の平和記念像の前にでました。その横に被爆者の店がありました。しかし、被爆者がなかなか見えません。

入院されていて、本日退院されたばかりということがわかりました。初めてじかに被爆者の話が聞けると期待していました。健やかな日常に戻れることを祈念いたします。

次の予定地、聖コルベ記念館のある聖母の騎士教会をめざします。坂を下りて電車通りに出て蛍茶屋行に乗り、終点で下車。教会は、山頂にありました。

コルベ神父は教会を創立し、6年後にポーランドにもどられます。そこでナチスにとらわれて、アウシュビッツに送られます。脱走者が出て、銃殺されるところを、コルベは、身代わりを申し出て、独房で餓死を選びました。コルベは聖コルベになりました。

「日本の教会の平和に対する使命」を発信する教会であることも知りました。いいところを紹介していただいて感謝です。

青雲荘のバスが迎えにきてくれました。

バスの中で今回の参加者の自己紹介をしました。サーバス専属ガイドのKさんの案内で島原半島の歴史などを学習しながら、ホテルにつきました。夕食後、鹿児島島のFさんによる学校紹介（特定非営利滑動法人 森の学校楠学園）がありました。

フランスからのMさんや、Fさんと同室だったのに、すぐねっむてしまってざんねんでした。

追記：被爆者の講話をぜひ、直接聞いて頂きたいと思い、今回のメインに講話聴取を設定していました。例会の企画担当のYさんは被爆講話の窓口になっている方と何回も連絡を取り合い、下平作江さん(この方について関心がある方は名前を入力してネット検索をさせていただきます)が講話者に決定していました。二人で喜んでいたのですが、下平さんが体調を悪くされ、入院されていることを窓口の方から知らされてはいませんでした。窓口の

方もその日が「地球市民の会」の集会と重なり、準備のために忙しくされていて、連絡を失念されていたのでしょう。そのため、参加者のみなさんのご期待に応えられず申し訳ありませんでした。深謝 (O)

2 トラベリング報告 その1

サーバスマイトに誘われて原水禁大会へ

S 会員

8月7日朝、車で徳山を発ち、一路諫早のサーバスマイトのY子さん宅をめざした。1時半頃に彼女宅に到着。早速、島原そうめんをご馳走になり、しばらくダベリング。15時半から始まる平和のつどいに参加するため、彼女に長崎市民会館に運んでもらった。彼女は大会の間、2人の外国代表者と私を泊めるので、夕食の支度があるからと帰宅した。

平和のつどいの1部は合唱のオープニング、主催者あいさつ、田上長崎市長あいさつ、松井広島市長メッセージ、被爆者代表谷口さんのあいさつ（田上市長と谷口さんは9日の平和公園での式典にもあいさつされていた）、世界各国代表あいさつやメッセージ、等々。

2部は文化のつどいで、被爆者合唱団ひまわりの合唱、ベネズエラ駐日大使夫人のアヴェマリア、組曲「平和への旅」……。谷口さんの被爆体験は想像を絶する。よくぞ戦後70年まで生きてくださったことよ、命あるかぎり核廃絶を訴えるとの力強いメッセージに頭が下がる。被爆していなかったら、別の人生もあったであろうに……。

18時頃、早めに会場を出て、市電に乗り、大会事務局の置かれているワシントンホテルに行った。ここで、Yさんと彼女宅に泊まるインド人、ネパール人と合流した。4人でYさん宅に移動。いよいよ遅めの夕食。カレーライス、サラダ、冷や奴、煮染めの4品。Yさんの夫を含めた5人でビールで乾杯。カレーが本場の2人も「おいしい。おいしい。」を連発。ネパール人がベジタリアンなので彼女はカレーを豆とチキンで2種類作っていた。マイルドな日本酒も飲みながら、4人の変な英会話でわからないところは無視して楽しい晩餐会でした。

8日の朝食は和食。その後、彼女の車で、外国人2人は青年のつどい分科会。Yさんと私は「原発と原爆」分科会に分かれて参加。

その日の夕食は多種類の野菜のてんぷら、ほとんどの野菜は彼女の夫が栽培されたもの。アンベジタリアンのための魚フライ、冷や奴、ちらしずし、○○○。彼女はいつも4品つくるそう。またまた5人でビールで乾杯。ビールの後は少し甘みのある黒糖焼酎。外国人らは「ジャパニーズフーズ ナイス！」を連発でした。

9日の朝食はパン食。自家製のかぼちゃスープ、サラダ。前日、夫が作ったかぼちゃを彼女が手に豆を作って包丁で切っていた。大会最終日なので、夫も参加されて5人で長崎市民会館に行った。入り口前のテントで売られていたチェ・ゲバラの似顔絵入りのTシャツが気に入ってY夫婦と私が買った。着ていたら、キューバに行ったと思われるかもよと言いながら。

1日目の参加数5000人、3日目は6000人。3日目は座るところもなく、2階の最上階の床に座っての参加だった。沖縄から北海道までの各地からの代表団が核廃絶と戦争法案反対の訴えをして熱気むんむん。この思いと願いがこの会場内だけでなく、日本各地に世界各地にと広がってほしい。

13時過ぎに大会は盛大に終わり、Yさんと私だけ自宅に戻り、昼食を頂いて、14時半頃彼女宅を出発し帰路についた。外国人2人とY夫婦はその夜、さよならパーティに出て、彼らはまたY宅に泊まるとのこと。

彼女はあらかじめ献立を考えているが、3人を2～3日も泊めて、食事を出して大変だと思うが、そんなに苦にしておかず、淡々と料理も作っている。そばで見ていると感心した。夫もとても協力的だった。あなたは何をしたのって言われそう。はい、私は配膳と後かたづけの手伝いをしただけです。

九州支部のメンバーになったのが縁で、Yさんと知り合って念願の原水禁大会に参加できて、2人のアジア人とも交流できて、とても充実した夏を過ごすことができた。サーバスと巡り合わせてくれた人、例会で知り合った人、人、いろいろな人の縁があって人生が広がることに感謝します。皆様、ありがとうございます。今後ともよろしく願います。秋例会でお会いしましょう。

追記：

早々に旅行記をいただいていたのですが、会報の発行期に合わせたため、時期が少しずれてしまいました。ごめんなさい。

ホストリストにJTW（日本人旅行者歓迎）と書いてある方は日本人も受け入れOKという意味です。外国はちょっと～と言われる方もトライされてはいかがですか。一つ屋根の下の国内交流です。（O）

3 トラベリング報告 その2

ードイツ・チェコ・ポーランド自転車旅行

初めてのサーバス旅行

鹿児島 F会員

旅行というより知人訪問。それが、初めてのサーバストラベルを経験して感じたことでした。

2015年7月14日、私は一人の男の子と一緒にフランクフルトの空港に降り立ちました。これからドイツに留学する彼を送り届けるためです。彼は私の経営するオルタナティブスクール「森の学校楠学園」に小学部・中学部と7年間通った卒業生。釣りや写真と料理が好きで包丁研ぎまでこなすという才能にあふれた少年で、世界的な視野を身につけてほしいという親御さんの希望もあり留学を決意しました。

楠学園は独特なカリキュラムを組んでおり、キャンプや自転車旅に出掛けたり生徒だけで修学旅行を企画して実現したりしています。また海外から長期滞在のゲストが来られることも多く、異なるアイデンティティを持った方と接する機会が多いのが特徴です。そんな中で育った彼ですから、新しく暮らすことになるこの国でもなるべく地元の方と交流し視野を広げてもらいたいもの。

当初は彼を送り届けた後に単独でサーバス旅行を試みようと考えていたのですが、



ホストさんにご相談したところ快く彼の滞在も引き受けてくださいましたので一緒におじゃますることができました。

予定より半時間遅れで到着した私たちを、ハイデルベルクのホストであるEさんは満面の笑みと共に迎えてくださいました。右も左も分からない異国の地。そこに、自分たちの名前を知っていて待っていてくれる人がいる。それはなんと心強いことなのでしょう。移動と時差と不安で張り詰めていた彼の緊張の糸もふっと緩んだのを感じました。

結局そちらにはなんと5泊もお世話になりました。4泊目以降はホテルに移る予定だったのですが、奥様のCさんよりご提案をいただいたのです。Cさんはご自身もサーバス旅行を何度もされていて、お互いを知るのに2泊では短いと感じていらっしゃるとのこと。今回は週末にスイスで行われるサーバスの交流会に参加されるご予定がありましたので3泊だけということだったのですが、ご夫婦がご不在でもお子さん方でホスト役を務めることができるかと判断されてのご提案でした。

この子どもたちがまた素敵なのです。17歳と10歳のご兄弟なのですが、「よく眠れた?」「今日はどうだった?」などとよく話し掛けてくれて、そのホスピタリティーに感動します。これからこの街で暮らすことになる彼にとっては、ひととき心強い味方になってくれることでしょう。ちなみにドイツの方は、いろいろな方とフレンドリーに話をされると感じます。友達のお母さん、カフェでたまたま隣に座った方、お買い物をする時の店員さんなど。素敵な文化ですね。

さて、今回私はハイデルベルクばかりでなく計6軒のホストさんのところを訪問することができました。2軒目からは単独旅行。ミュンヘンにて自転車を購入し、チェコのリーニェまで漕いで行ったのです。途中途中の街で2泊ずつ、つまり自転車を漕ぐ日と交流する日が交互にくるといって感じで街から街をつないでゆきました。

サーバスのホストリストには興味のあることが記してありますので、近くに複数のホストさんがいらっしゃる時には「biking」「nature」「alternative」などのキーワードを探してコンタクトを取りました。この項目が設定してあるのはお互いにとってとてもいいと実感します。なぜなら、趣味や嗜好を同じくする方とからすぐに打ち解けられ、共感する場面も多いからです。



また事前にメールでやりとりをしたことでミュンヘンではモンテッソーリの学校を、デッゲンドルフでは森のようちえんを見ることができましたし、モースバーグではオーガニックのお店やお子さんの通う幼稚園を案内していただくことができました。嬉しかったのは、どれも日常生活の中にある場所だということです。実は以前にもドイツで森のようちえんを訪問したことがあるのですが、公的な訪問だったためきちんと準備したものをを見せていただく形になっていました。いわば、学校でいうところの「学校訪問」のようなものですね。一通りは分かっても形式的なことや表面的なことが多くなることは否めません。その点、知っている人が連れてきた訪問者という立場ですと相手も取り繕うことなく普段の姿を見せてくださいます。これは予想外の嬉しい出来事でした。

今回、1ヶ月の旅行のうち半分はサーバスのホストさんにお世話になったことになりました。出発前にはそんなにたくさんお世話になっていいのかしらという思いもありましたが、旅行を終えたいま、思い切ってコンタクトを取ってみて本当によかったと感じています。わずか二泊三日の滞在ではありますが、それぞれに大変充実した時間となりました。つながりはきっとこれからも続いていくはず…。

お世話になった分は、これから鹿児島を訪ねてこられるトラベラーさんや多くの若者たちにお返ししていく所存です。それと、信頼できる友人をお誘いして鹿児島のホストさんを増やしていければ嬉しいです。尚、今回の旅行にあたっては九州支部のみなさま方に大変お世話になりました。この場をお借りして深く感謝の意を表しこの旅行記を閉じたいと思います。ありがとうございました。

追記：Fさんのオルタナティブスクールについて詳しく知りたい方はネットで「森の学校 楠学園」で検索してみてください。ヒットします。(O)

4 サーバス九州からのお知らせとお願い

1 トラベラー受け入れ報告の準備

そろそろ年末。1年間の活動の集約をする時期が近づいています。

トラベラー受け入れ報告をお願いしますので、以下のことをまとめておいていただければと思います。

①2015年に受け入れたトラベラーの名前 ②国名 ③期日(何泊何日) ④コメント

2 2016年分の年会費(3000円)の納入をお願いします。2016年1月31日を締め切りにします。(サーバス九州事務局は郵貯口座をもっています。もし、郵貯通帳をお持ちでしたら振り込み手数料無しで送金できます。口座番号はこのメールの末尾に常掲しています。ご利用ください。)

3 サーバス会員資格は自動継続になっていますが、ご事情で退会を希望される方は12月末までにお申し出いただければと思います。

4 ホストリストに関してもあらためて意向をお聞き致します。(紙版・電子版共に)

5 サーバス受け入れの場合はLOIをしっかりとご確認ください。期限切れの方もあっているようですので、チェックをお願いします。

ご多用でしょうが、どうぞよろしくお願い致します。

5 サーバス九州現況と会員情報 (2015年10月20日現在)

みなさまのロコミ等のおかげで、サーバスについての問い合わせがしばしばあっています。今回も佐賀のY会員のご紹介で沖縄の方からの問い合わせがありました。もし、ご入会いただければ九州8県全てに会員在住と言うことになります。期待!

現在九州支部会員数 59 家族

内訳：福岡 15、佐賀 4、長崎 10、熊本 6、大分 14、宮崎 9、鹿児島 1